

令和7年度第3回地方独立行政法人機構評価委員会 議事要旨

日 時 令和7年8月26日(火) 16時00分から16時42分

場 所 加古川中央市民病院 3階 会議室1

出席者 委 員 5名
加古川市民病院機構 12名
事務局 7名

傍聴者 1名

会議次第 1. 開会
2. 議題
 (1) 令和6年度業務実績に関する評価について
 (2) 中期目標期間業務実績見込に関する評価について
 (3) 第3期中期目標の期間の終了時の検討に係る意見について
 (4) 第4期中期目標(案)について
3. 閉会

1. 開会	開会の宣言 ＜委員長あいさつ＞
2. 議題	（１）令和６年度業務実績に関する評価について 小項目評価の結果から評価実施要領に基づく機械的に算出される各大項目の評価点と評価について、事務局から説明した後に、評価委員会で審議し、大項目評価を以下のとおり決定した。 【大項目１】住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 評価実施要領による算出結果：合計点「２９０点」、評点「４．１４点」、評価「Ａ」 ⇒ 評価委員会評価：「Ａ」 （委員） 小項目の評価が病院の評価と委員の評価に大きな差異がなく、Ａの評価で問題ない。 （委員） 病院の評価と委員の評価が概ね一致しているため、Ａの評価で問題ない。 （委員） Ｓの評価には届かないが、順調な経営ができているため、評価委員会としてＡとする。 【大項目２】業務運営の改善及び効率化に関する事項 評価実施要領による算出結果：合計点「７２点」、評点「４．００点」、評価「Ａ」 ⇒ 評価委員会評価：「Ａ」 （委員） 前回、小項目について委員会で議論した結果であり、病院の評価と一致しているため、Ａ評価でよい。 （委員） 厳しい状況下でも医師の確保が出来ている部分は特に評価すべきだが、平均が４．０点であることから、Ａの評価でよい。 【大項目３】財務内容の改善に関する事項 評価実施要領による算出結果：合計点「４５点」、評点「４．５０点」、評価「Ｓ」 ⇒ 評価委員会評価：「Ｓ」 （委員） 経営的に優れており、財務において心配がないためＳの評価で問題ない。

	(委員) 2024 年度は物価高で公立・私立問わず経営が悪化している状況下でも目標を達成しているため、このままの評価でよい。 【大項目 4】 その他業務運営に関する重要事項 評価実施要領による算出結果：合計点「6 点」、評点「3.00 点」、評価：「B」 ⇒ 評価委員会評価：「B」 (委員) 加古川市消防本部が実施した救急フェアへの派遣や養護学校の修学旅行への同行など順調に進んでいる。 (委員) 目標を立てづらい分野であるものの、病院側が工夫し、施策への参加をしているように見受けられるため概ね順調だと評価できる。 (2) 中期目標期間業務実績見込に関する評価について 小項目評価の結果から評価実施要領に基づく機械的に算出される各大項目の評価点と評価について、事務局から説明した後に、評価委員会で審議し、大項目評価を以下のとおり決定した。 【大項目 1】 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項 評価実施要領による算出結果：合計点「315 点」、評点「4.5 点」、評価「S」 ⇒ 評価委員会評価：「S」 (委員) この5 年間はコロナ禍を乗り越え、医療体制を維持したという観点から十分評価できる。 (委員) 十分な達成率を挙げていることから S 評価は妥当である。 (委員) 周産期医療は医師不足や分娩取扱医療機関の減少など厳しい状況下にもかかわらず、十分な実績を挙げているため特に評価すべきところである。 【大項目 2】 業務運営の改善及び効率化に関する事項 評価実施要領による算出結果：合計点「72 点」、評点「4.00 点」、評価「A」 ⇒ 評価委員会評価：「A」
--	---

	(委員) 5年間の間に働き方改革を推進し、順調に達成見込みであるため評価の変更の必要はない。 (委員) コンプライアンスの徹底などにも取り組み、良い結果が残せているが、病院・評価委員会ともに同じ評価であることからAという評価が妥当である。 【大項目3】財務内容の改善に関する事項 評価実施要領による算出結果：合計点「50点」、評点「5.00点」、評価「S」 ⇒ 評価委員会評価：「S」 (委員) コスト意識を持って運営されていると認識しており、十分に評価できる。 (委員) 物価高騰等、厳しい状況にもかかわらずうまく運営できている。 (委員) 5年間のうち、最初はコロナの影響でかなり業績を上げていた。昨年度は、コロナ禍ほどの業績は上げられなかったものの、厳しい状況の中、黒字を維持していることは高く評価できる。 【大項目4】その他業務運営に関する重要事項 評価実施要領による算出結果：合計点「8点」、評点「4.00点」、評価：「A」 ⇒ 評価委員会評価：「A」 (委員) コロナという未曾有の事態が発生したことを除いても、市の行政や地域社会との共同という部分は順調に取り組み、Aの評価で問題ないと思う。 (委員) 特に変更すべき点はないと思う。 (委員) 毎年、着々と新しい取り組みをしているため、引き続き市や地域と協力しながら取り組んでもらいたい。 (3) 第3期中期目標の期間の終了時の検討に係る意見について 事務局から地方独立行政法人法の趣旨を説明した後に、評価委員会で審議し、法人の業務の継続又は組織の必要性その他その組織及び業務の全般にわたる検討については、引き続き、地方独立行政法人の形態で業務を行うことが適当であると判断した。
--	--

	(4) 第4期中期目標(案)について 第2回評価委員会で事務局より説明があった第4期中期目標(案)について、議論を行った。 (委員) 「DXの推進」が追加され、時代の流れを踏まえた目標となっていることが印象的であり、財務的な効果が出ることを期待したい。 (委員) 「患者にやさしい医療の推進」の追加に魅力を感じる。また、第3期の目標を継承している部分も、高度専門医療の提供が行える公立病院としての役割を発揮し続けようとする方向性は十分理解できる。 (委員) 昨今、地方病院へのサイバー攻撃が原因で業務が停滞したというニュースもあり、「リスク管理の徹底」の追加は有意義である。他の項目についても、時代に即応した項目の追加があり、良い内容の目標である。 (機構) 「市施策への協力及び地域社会への貢献」について、これまでワクチン接種への協力などは行ってきたが、一方で、加古川市と共に健康寿命の延伸に取り組み切れているとは言い難い。今後は健康増進や予防医療などできることから着手するため、具体案を検討していきたい。
3. 閉会	<副委員長あいさつ>